

リンドウの掘り上げ株利用による促成栽培

農業研究センター 農産園芸研究所 花き部

研究のねらい

リンドウの栽培は、定植後据置きし、2～3年採花した後、株を廃葉し、水稲との輪作体系がとられている。一方、据置き株を低温遭遇後1～2月から加温または保温して5月下旬～6月に出荷する促成栽培も行われている。

そこで、より早い4～5月出荷をならい、採花後廃葉する株を掘り上げて利用した促成栽培を確立した。

研究の成果

1. 系統

促成栽培には、開花期の早い早生系統が適する。

2. 掘り上げ時期と冷蔵期間

8月掘り上げでは90～120日間、9月掘り上げでは60～90日間、10月掘り上げでは30～60日間の冷蔵期間が必要である。

定植期は11月下旬～12月中旬である。

3. 冷蔵方法

株の冷蔵は、ネコブセンチュウや褐色根腐れ病の罹病株を取り除き、オーソサイド200倍液に30分間浸せき消毒後、湿ったパッキング材に詰めて2で行う。

4. 栽培温度

定植から花芽分化(草丈50cm前後)までは5～10で暖房を行い、花芽分化後は15～20で暖房する。昼間の換気は20程度で行う。

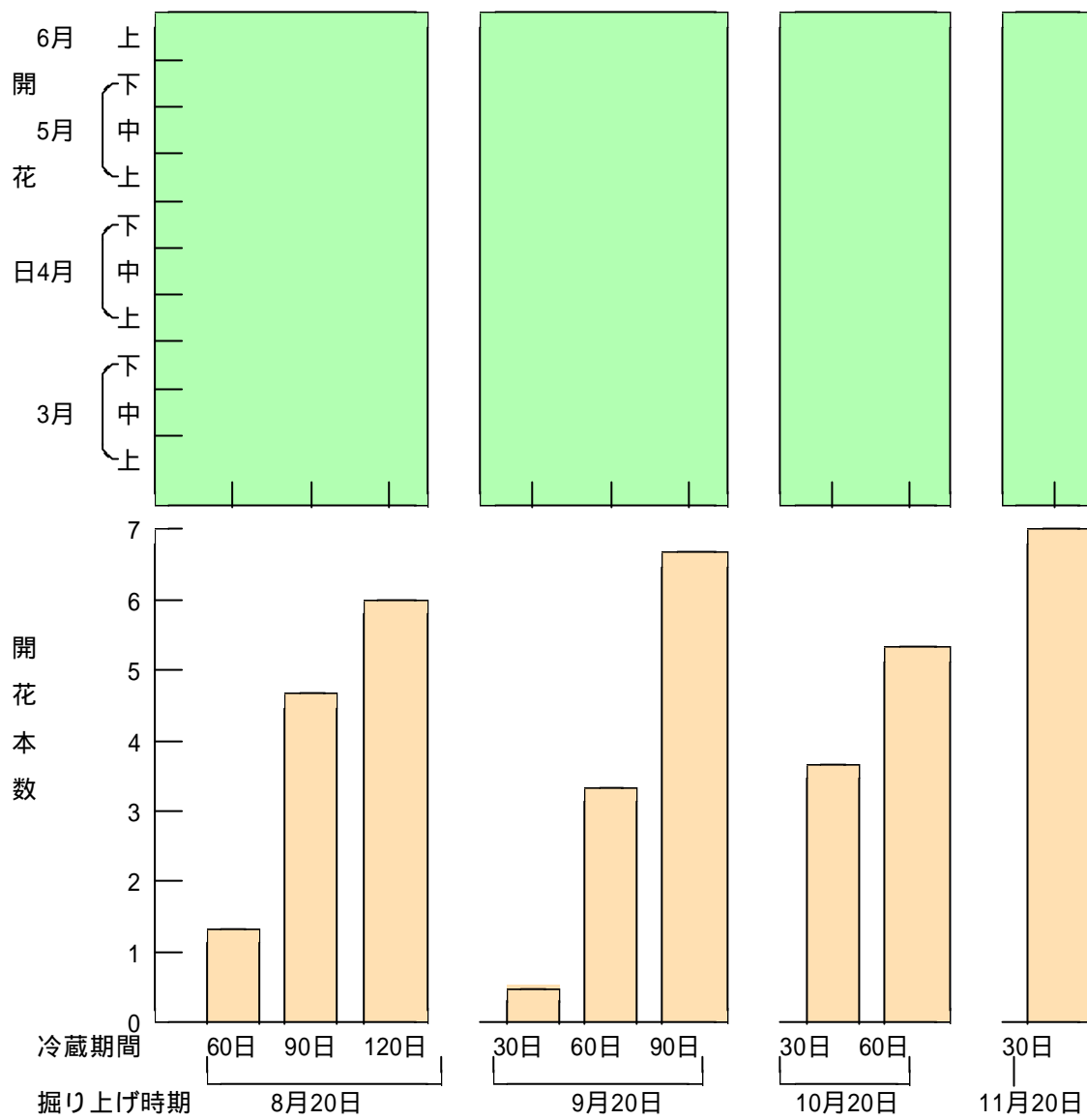


図 掘り上げ時期及び冷蔵期間による開花日と採花本数